



中村俊定文庫
文庫 18
200





享保十四年己酉之夏

象之吟

今予以之舜乃清水小象乃象
神如 象乃旅 全 象乃花 全 象乃色
 象乃香 全 象乃相 全 象乃水 全 象乃入
 象乃皆 全 象乃小 全 象乃信 全



丹乃花乃下信乃象乃毫乃色

今宰院

梅枝主人
伊紅

京指茶師鳥丸西入

猿宿中一折

青苔乃山石上之志乃古乃古久

杉小舎一と知くまに中

冷舎ハ系より白ハ離ハ家小

ワクハ抹輪ハ崎乃機ヤ

名身ハ折角待々眠ハ

鹿笛小皆あふり山崎居

老僧ハ朱子割く冬迄

教乃病ハ毛医者小乃

加賀

龜町

伊七 茶若宗

乙由

夢北

茶

町

北

由

飛石小利体遠而より交

成乃小豆腐と氣きり

測ハ嫩小致日乃聖乃大和橋

干母伊道乃竿小と合

植ハ小杉子知ぬハ松入り

小僧ハ滑る月冬去ハ丸

酒あふハ濁つ中毛お希乃

星乃あふハ小戸ハさぬ

居風乃花乃鏡乃焼ハ

心並ハあふハ一とハ乃連

町

茶

由

北

茶

由

北

町

由

北

畑歩ゆ何と問ふやと指し
鐘さへ少りふ取くのま
あし屋とまうりも搔て
衣小敷乃よりぬ尼寺
蘇子乃花巻るお小毛あり
茶漬乃苦の巻皮あり子
甚巻る退てもやう近め子
毒う押さぬ虫毒静まる
呼けくぬ小枝に能ちり
附乃紅糸小指ふま本

秋所由 茂秋 北由町北由所

節供より日和うけ合十三夜
袖の空より取ぬりも塔
先達乃下知と覚けく踏まひ
袋乃後も扇うて干飯
眼小さる物を狂奇小詠り
編綴と着てぬ小伴人
鉄取甘う出代り宿乃束乃花
蛸と指ふ小糸小指く

草北由秋北由町北

挨拶

風人々々其に涼一夏木立越後千丈

そよし乃水翁乃旅の戸扣く 夏木

五月四日龜所乃旅宿人々々

旅乃戸小自し鳴出乃草葉浦乃 夏秋

志々女隣の垣もワの草一 亀田

りり火と一雨つ小撥々々々 乙由

寝乃帰帆ハ詩小も備々々 秋

約然々杉葉山如小昼の月 町

奉公始小菊乃口上 井

尼所所々秋乃錦毛着かこ 秋

さ心多乃一乃わら向々 町

さ水々々々船待うらり山 井

田舎へ水々餅毛墨さよ 秋

新草々々々是々居々杜乃水 所

見在々々々所前乃壁 井

燈の影々躍乃伊達のかやあ々々 秋

月未か水々毛い寝顔乃割 千丈

出代々女心小口乃冷 一々 曾北

賞小者々々々々々心結糸 秋

あはふりしやうし花の人通り
雲雀見あけり山とやりし
春ふりしはる川望浦ハ更衣
しりし〜 簪女小用を窺ふ
里んく〜 花鞠連いの者かたり
雲井乃察小者手あがり
女子衆乃連子何度と荷を解て
りふ毛追ハる〜 麦秋ハ風
穀陰小似今女幟立ちあがり
雞の〜 ちや川とあふ小糸の付

北 林 秋 町 林 北 所 秋 北 林

あ〜 若し居士衣吹し〜 梅の西
菜飯乃豆腐味噌揚々待
名目の空研多〜 鏡ヤ〜
毛村〜 ちや川とあふ小糸の付
新髪乃角力一度小年うまがる
土搦乃歌小伽藍〜 庵〜 花
市んち〜 ハ山〜 乃都〜 ありし
草臥是小笠〜 新を鳥んふ
短冊小帳多〜 小の花〜
山とあふ川とあふ〜 花乃交り

秋 町 林 北 所 秋 北 林 草

端十

芳蒲あて勢小智小猿撮り分
粽結小女子代母乃行子
茂秋

女目六白妻林栲治乃小
雨乃一衣とやとくと

揚乃軒やあや由乃後乃白
茂林

牧屋乃是と上殊小并く秋
栲治

学文乃根と答無小岩小水く
茂秋

國乃詠とをりく小物中
日國

隼鷹と居く起出乃月
原北

一日市一小山も秋めく
出乃 芦吹

千物乃竿も色喰あく寺持と
國

古歌小公事勝つ之是七脚
井

雲乃木如鳥と知小と蝉の飛
吹

競る如糸綱ワリ小さうい
秋

田樂乃串加人きハ扇り
國

禪乃方小と何海とふ
北

菊乃名と身と小書物流りし
井

尺五と人虫乃沸くく
吹

之日月乃乃ハ残りく古戦場
秋

草鞋小心剛力乃款
立春小花乃は指折と
猫乃は吏婦と御は小忠号
行乃は安れ文乃は便り
舟乃は降乃は時り減る
強金殿と鳥帽子小新きと
二 番望妻と遣才けあり
市命博乃はありに十招撰立
志乃はいもりは如智院の窮屈
魚乃は次乃は風の吹きありく

秋吹井北岡 秋吹井北岡

芝射乃は小かり釣竿
丸岡乃は埒と名と鳥く
江湖乃は順ハ曹洞乃は花
静さハ柳ハ鞠乃は多きりき
春戸ハ引込川ハ船乃は笠
旅人乃は汗ハ物干し
ちと多北玉沙漬の壺石
いつ多と白乃は伶ハ妓王妓女
化粧仕は大小乃は額
鳥羽乃は鐘ハ家ハのハ尺孫

秋吹井北岡 秋吹井北岡

田 小色 畑 小色 御代乃迄所

草

東山 雙林寺 開所 弥亭 寺
全澤 豊町 子息 河 女目 十四日
海 可 碑 小 當 一

石 可 乃 迷 之 我 中 逢 之 我 凡

表 林

縁 小 可 乃 乃 笠 乃 乃

飛 町

大 木 乃 可 乃 乃 乃 乃 乃 乃

未

点 色 見 知 之 女 男 四 五 人

吾 仲

捨 鐘 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

遊 雲

裕 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

子 夫

双 後

一 系 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

酒 堂

欲 小 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

寺 院

一 つ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

園 入

節 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

旁 北

一 寸 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

鼻 角

屏 風 小 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

井

目 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

町

盆 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

仲

新 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

雲

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

秋

笑少くは始ぬ花と草臥て
紋 変り色ぬまじ菊水
出代り色別 端の家いさし足
茶筌りしと小鉢扣き待
栗始花長さと雨乃晴くま

昔 尼ろまの 嵯田 毛尾子 惜りおし
読 びきり 双紙 打ちつけ 正
如月の

喜無花の国書 (一五字本)

幅 紗ありきいと窓乃夕露

化 仲 陀 入 玄 北 南 丈 入 陀

浪人乃我と花うなる月乃花
灸乃きくしと 甚矣なう
風多 麦のあより 扇く 里帰り
芝 居見 扇乃 奏と しの 似る
細工 場の 大桶も 字なき 扇子折
人 教 小豆と 女 祝ひ 日の 餅
うら いと 花うら 現く 茶 希の中
之 味 線 弾 ハと くに 蒲公

草 所 秋 北 母 角 丈 井

东山本住寺いし 染名乃左柳子
舟り半歌仙 女月十七日

笑ふらふ姑の小花と草臥て
紋 変り色ぬる心菊 氷
出代り色別 帰ぬ家いさふり足
奈答りいさ小鉢 扣き待
栗姑花長さと雨乃晴うさく
抱く走しる帖乃細網
御城く鼻乃見寄る鱗形
業半た七家と君負ケ
秋風乃多ういふ多ハ教の言
幅紗ありきと窓乃夕露

陀 入 犬 南 北 雲 入 陀 仲 化

浪人乃我と抱うなる月乃泣
灸乃きくいも 甚矣なうら
風多 麦のあより扇く里帰り
芝 居見扇乃巻走ら似る
細工場の火桶もきき扇子折
人教小豆と女祝ひ日の餅
うらしいと花うら現く茶の中
之味線 弾ハとくに蒲公

井 夫 角 母 北 秋 所 草

东山本住寺いし染名乃左柳子
舟行半歌仙女月十七日

東山本位寺少穂小柳一八左柳

十万家見しとく教や青嵐 表也

雲乃毛やうに甘きなく 左柳

多中 小乃葉乃船の管と着せて 昇角

肩て肩ひとかへる水 汲 雪北

泊 札小舟より張下かいら 茂秋

翅 小毛りととあふるる系 千と

庵 室と被る餅小あけりて 之由

双六乃手乃發子いそ 北

新保への文と三國の舟乃上

祈多神こへる為主なる月 角

有系とて世乃空の袖子ゆけ 之柳

医者乃毛りとと牛小送る水 秋

結き風の影あくとく池の石二 秋

篔乃夢初の光とと露葉 秋

唐 葉とつ夜小月の欠とあくと 秋

盆乃ほとく色過くと冷射 秋

換扱乃笑血小娘の花う咲 秋

蟹乃中の塵ハサしとと 秋

雪之柳 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋

各探題

三味線

三味線いり乃若^{ツカ}系の東山

麥母

琴

琴乃音こゆとて松小音流

鼻角

殺

殺ハ片奏て弦即く四柱也

千々

尺八

口ノ糸や河とてみくつよ切

左柳

吹流

宵宮北青山榊やさへり足

之由

舞子

舞北手と笑々々あつて扇也

曾北

治部

鼓とあつて仕舞おそり舞也

奏秋

左柳乃命一の答應小ま歌也

例乃全舞もつとけ

石舟乃花玉歌の山女茶の匂い

鼻角

凌宵小石を掛山の夕日也

曾北

冷け由山と浮ふや青也

奏秋

神路山乃ま少人小雲面のたけさ小
同ー遊ちるハ清水乃鏡ノ如 千く
名もたない多の極小夏 山 麦林

五月十九日 残別

遠所乃あーそーそ夏乃けーの象

麦林と同山、谷の中の花よ越路の

山と名多乃母乃ろくハ洛ノ

繋りく誰くハ種ノ

極ノ一ハ母もあく金城も題ノ水

多る極ハ都乃如んこ多の之足

連と如くこふうノ水

寂小あまみま乃如繋り
見送る

時多見伸小木の葉峰ノ 麦林

こり余乃出立ヤ加笑乃夏お織 雪北

金城乃遠所子の猿拍小谷を

ちく水ノ佛の子の風味もよハ千里に

亦乃子も見送るハ小乃小多ノ 夏秋

首尾

五月廿二日 西の山飛屋小く

奥ノ

若舟也國ハ名高ク女序ニ至リ
 牧帳乃縹子少椽乃日黒
 山乃端小尺高ク多姑初明
 豆腐乃引一ニセメク一丁
 突 寔小集結レケリ錢ヲ月
 踊 乃那色 寒ニハ 盆 過
 叔 磨小列 得ぬ嫌ハ 静少ク
 仁 助へ廻ラ 望乃 伴勢 謙
 比 白ハ名所乃 鮎ニ 白河原
 長ク 存 存言ハ 笑ニ 似テ 意ハ
 秋 菊 雲 茂秋 千丈 曾北 昇角 吾仲 遊雲 麦秋

元 胎亦 ちろク 花ニ 妙リ 咲ト 妙リ
 餅 乃 蓬 小 麻乃 虫 形 代
 湖 雲 子 如 椽 級ニ 周 小
 草 井

房 乃 号 乃 自リ 和 姑 次 乃 一 百 令
 隣 乃 知ク ぬ 椽 乃 五 身 雨
 隣 秋 乃 帰リ 見ラリ ハ 合 合 少ク
 麦 秋 湖 雲

洛 乃 山 只 乃 市 乃 一 小 椽 級
 休 乃 子 乃 梨 乃 成 走 乃 涼 乃 乃 也
 山 只 宿 山 只 麦 秋

生 楠乃源女昂りおのこ射殺て 舞角

而を頼りへハハハ降中下 花字

弥ハ満々春小合々々香北 曾北

花 聖り 迷小 京乃 近道 茂秋

物 鱈小 盡乃 香言 寺 徒寺 吾仲

五月廿八日素雲法師の律庵と云ふ

透 柳小 淡乃 花ハ なるり 麦母

ハ 中ハ なるり 母乃 啼 單士

滝ハ 満々 見乃 小 芝と 香北 風亦

下 戸ハ 梵 梵の外 なるり 茂秋

淡菘の風なるりき折る波言や

いさのみ少人乃なるり水 流ハ 自由

赤なるり 晴ハ 乃 お 隔り なるり 人

りなるり

氷ハ 糸 解ハ 豆ハ 乃 蟬の 鳴 單士

菖子 乃 様 乃 日 救 菖 麦母

六月 初日

氷 室乃 乃 御光の 珠 乃 都 遠 麦母

初 日 乃 雪 乃 中 國 庭 乃 香 小 涼 秋

六月 三日

卯乃花とてく黒木のき井か 麦母

北野三井吉綱

陰多を見て又あ少回や雲の峯 全

陽者を考へく

花乃名の復ちき危や空の下 麦母

七の祇園と云

あけのや岩戸山くし祈り云雀 全

う月十日あ羽の音誰と送りく

又月の道きとワれちりく哉 麦母

取多く見え虎乃尾乃花 芦吹

廣庭と手際小部く佛くひそ

う身くう白素雪子ゆあし

ちく水く尾吉北茶店と拙心

枕小豆くぬさや功高葉 麦母

清水をぬけり流きくき 素雪

鶺鴒小笠善ぬゆきと船出くき 百阿

湖雲種子乃椽敷小哉秋法師を

いせなひ帰唐を告事ありに

終日管無乃餘舟小扇と虫賛

せよと望まぬく夕鳥乃不飛り

三笑と催凡ち水は是と井舎の

多入と樂玉乃と由志の心

空云ハ到一詩乃其ハ心カク 麦也

饑別

蟬一乃音ハ残之動之別之介 湖雲

秋坊

あ〜道リハ夏乃其也ハ是之ハ 全

雷別

水々水々見帰之其ヤ風車 秋

紅乃納涼と見捨之秋風也

ハセ水様ハ三帰リ由人ハ乃
名妙と其ハ云

馬巾 鞆日教如之ハ是カカ 草土

水々月廿日ハハ浴と様立

高雲法所ハ乃一向ハ其カハ

月且之と其ハ云ハ其カハ

名妙と折玉

二見 是云ハハ一屋ハ其カハ 麦也

葉下ハ三宿と其カハ

月一境界ハ老僧ハ其カハ

雲水乃 浮葉や 浮葉袋 茂秋

女子の文藝と妻の明々めと小

若くやしく水多月乃 空と下り

月小は水とふ乃 首途と免はる

こゝろなりある

口くくや 胸ふ近よる 程は音 百阿

田別

競る北は分る小器とてあはく

乳乃涼風と舞くあはれ

見ぬもや 詠多言 将乃 雲の峰 麥秋

柳後園乃田別

ま〜 長乃 陰とくくく 柳乃 茂秋

深中元 静乃 美と少く

多北也 見もる 如 舟乃 堀牛 麦秋

井出乃 里あはく

云水や 陸中 遠く 田草 取 全

水多目や 日干 中 家とて 唱 蛙 茂秋

在厚寺

里北子の 禰とま〜 一 法井 首 麦秋

三輪

常勢巾引帷子乃裯モスリりふ 麦曲

生栢乃如る衣や輝乃空 茂秋

水年自甘日あより大和笑碎の

毛と小様のつゝ山をぬきりありて

白壁とつゝて敷帳の身折哉 麦曲

花まらり乃つゝ水練の昔 笑醉

勢乃乃し由先生と仲と能借乃

こととるま

こゝろの鷹と羽遣い智乃村 笑醉

綿とつゝ小名色花の涼一き 麦曲

何し空之乃ぬ 一ととるま

茂秋栢乃和勢とつゝ水練の昔

と一とるまとつゝ真下の佳景と結ふ

夏中色乃つゝ一庭あり水折 麦曲

風とあつゝらひあつゝあつゝ舟 後古山 宥之

鞠乃乃形とつゝ弦書と歌つゝ水と 茂秋

佐渡乃素雪とつゝ小大和あつゝ

彼ハ伴勢小行き 予ハ秋勢

とつゝあつゝ

勢乃小乃と秋とあつゝ秋と 麦曲

素雪子と花洛うり連立のりふ
予ハ志うく大和の方ふと雨の
いせのワシと送る

鈴小如きしりさの葉内や雲の峰
麦母先生小問クはく批語乃
成秋

一持と乞ふ

枝少りと葉も色揃りた夏本立
是ふ傳受ハさう面白
麦母

立秋

香久山小干物ハ何々秋
麦母

勢那の先生し由尋とろ小寄之
高うや中し

飛く来る蜜や月ハ灯一子
眠く花さく蓮乃葉の笠
寐也
麦母

麦母翁ハけりやう世

水乃上ふ一草涼一葉乃花
白雨晴るに宿ハ素合
青子
麦母

麦母先生小問クはく批語乃

うつわの何事なり百合の花
す起水安きハ夏山乃道
梅栗
麦母

一時初秋乃水樓を移して

欄干を亦小ゆきりや輝の露 麦秋

枕を雲の峰と間色をりき 麦秋

立秋

蓮乃実や目のこや秋^{ハツ}の秋 麦秋

七夕

新母と別り層をり一途の松 麦秋

弓もつらや乃栂川や星をり 麦秋

麦秋楼のむいふ酷暑の積霞と

月も水と初秋の夏小夏の夜あそ

ワタシと

昔乃秋を移りりりり 麦秋

ト桑ち永り星と雲退 宿之

何り百地氏乃佳亭秋と休と

山ハ満る知るぬ屏風のわ桑乃 麦秋

秋をり一早鶴の匂いの右丸 全

曉松亭北あーハ務陽の産生中と

竹言北友ちりりり雪比よりは里小

世もちりりり行者とらりり

造りふ昔と他乃乃養りが 全

風鈴小吹よ風乃鶴乃香 寐也

居推雅僧ハ夢と神小

孫子園ハ我旅毒と訪ハ

閑談の條真小

以業も秘密やめらん秋の水 麦母

汐口何の家の風程の

花を何とく一人ふ尚別

秋風也杖子漕出た牧屋の波 全

おの初乃声吹子の海園を送りく

涼一さ色 鶴の園まそ書其長坊 亥秋

誹諧書籍目録

不二條通富小谷西八下
橘枝堂野田藤八板行

浚川一冊 貞徳翁

合の見 隆志撰 二冊

油 うしと一冊 貞徳翁

不郭公 同 一冊

一万發句拔華 羅人撰 一冊

妻乃乃林 林石撰 二冊

握墨 乙始撰 二冊

梅日記 沾身選 三冊

福一満 乙始撰 二冊

七十子 同 一冊

雲乃濱 乙始撰 一冊

仇諧石 長門可考撰 一冊

六河竹 風狀撰 一冊

秋乃風 長門素風撰 一冊

鳴澤高根

孫人撰一冊

本うらゑ

江別彦松

治天撰二冊

今年竹

風狀撰一冊

富士如雪

江別

柳樊撰一冊

訛訛家譜

至吾鳥譜

文石選二冊

増補花大草

仕角

一冊

飯富士

風狀撰一冊

反古さか

麥林撰一冊

とくし

風狀撰一冊

山と月

瓢水撰二冊

行合田

芳白高印

風狀撰四冊

后乃花

大阜撰冊

柳蛙

